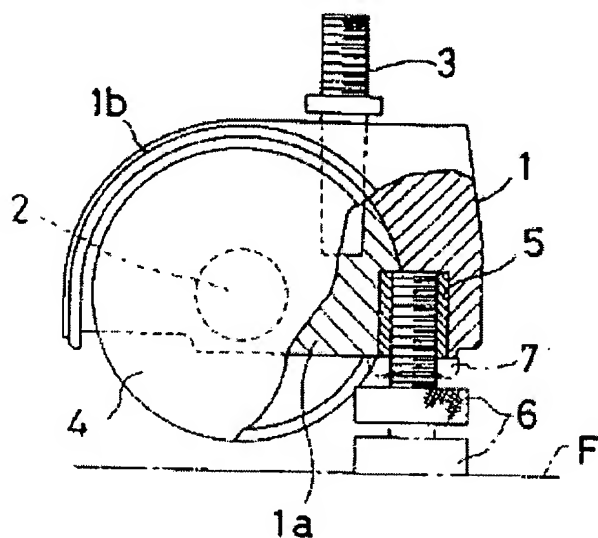


CASTER

Patent number: JP62214003
Publication date: 1987-09-19
Inventor: MARUYAMA SHUICHI
Applicant: YAPOTSUKU KK
Classification:
- international: B60B33/00
- european:
Application number: JP19860057686 19860313
Priority number(s): JP19860057686 19860313

Abstract not available for JP62214003



Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭62-214003

⑬ Int.Cl.⁴

B 60 B 33/00

識別記号

庁内整理番号

T-7146-3D

⑭ 公開 昭和62年(1987)9月19日

審査請求 有 発明の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 キャスター

⑯ 特 願 昭61-57686

⑰ 出 願 昭61(1986)3月13日

⑱ 発 明 者 丸 山 周 一 八尾市末広町3丁目8番11号

⑲ 出 願 人 株式会社 ヤボック 八尾市太田新町5丁目64番地

⑳ 代 理 人 弁理士 鎌田 文二

明 細 書

1. 発明の名称

キャスター

2. 特許請求の範囲

車輪軸の軸心を含む垂直面から離れた垂直な旋回軸のまわりを車輪が旋回できるように構成したキャスターにおいて、キャスターフレームに、前記車輪の下面から下方に突出可能なアジャスタボルトを設けたことを特徴とするキャスター。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

この発明は、家具その他の脚部に取付けられるキャスターに関する。

〔従来の技術及びその問題点〕

キャスターは、第1図乃至第3図を参照して説明すると、キャスターフレーム1に、水平な車輪軸2及びその軸心を含む垂直面から離れた垂直な旋回軸3を設けて、車輪4が旋回軸3のまわりを旋回できるように構成されており、前記旋回軸3を家具等の脚部に固着し、車輪4の転動及び旋回

によつて家具等を容易に移動し得るようにするものである。

ところで、近年、設置した後はあまり移動させない家具であつてもキャスターを取付けて運び易く(移動し易く)する傾向にあり、この種の家具は設置後に不用意に移動してはこまるため、キャスターには、移動を阻止するストッパ^(機)機構を有するものを使用している。この従来のストッパ機構は、車輪に摩擦板等を圧接して不動にするものである。

しかしながら、この従来のストッパ機構付キャスターは、不動操作及びその解除操作が容易である反面、構造が複雑であり、耐久性に問題がある。また、前記のように設置後にあまり移動させないものに使用するには價格的に高いものである。

〔発明の目的〕

この発明は、以上の点に留意し、簡単かつ安価な構造で不動にし得るキャスターを提供することを目的とする。

〔目的を達成するための手段〕

上記目的を達成するため、この発明にあつては、前述の従来のキャスターにおいて、キャスターフレームに、車輪の下面から下方に突出可能なアジャストボルトを設けたのである。

〔作用〕

この様に構成されるキャスターは、従来と同様に家具等の脚に取付け、アジャストボルトを車輪下面より上方に退去させた状態で、車輪が転動することにより、家具等を容易に移動し得る。所要位置に移動させた後、アジャストボルトをねじ出して車輪下面より突出させ、このボルトを床面等の設置面に当接することにより、車輪を浮き上がらせてボルトにより家具等を支持する。また、ボルトのねじ出し・ねじ込み量を調整することにより家具等の高さ調整をする。

〔実施例〕

以下、この発明の実施例を添付図面に基づいて説明する。

第1図乃至第3図に示すように、対向して設けた車輪4、4の間に垂直なフレーム1aが設けら

(3)

で、車輪4を転動させて家具等を所要位置に移動する。

所要位置に配置した後第1図鎖線のごとく、アジャストボルト6をねじ出して車輪4下面より突出させ、このボルト6を床面等の設置面Fに当接させ、車輪4を浮き上がらせてボルト6により家具等を支持する。

また、アジャストボルト6のねじ込み・ねじ出し量を調整して、机等の脚の高さを調整するとともに、がたつきをなくす。

なお、上記実施例において、第1図鎖線で示すように、アジャストボルト6にナット7を螺合してボルト6の突出位置を固定し得るようにしてもよい。

また、実施例は、キャスターフレーム1を、フレーム1aと1bで構成したが、両者1a、1bを合成樹脂により一体成形してもよく、その際、ブッシング5を埋込み成形することもできる。ブッシング5は、フレーム1が強度的に満足のいける素材であれば、必ずしも設ける必要はない。

(5)

れ、このフレーム1aに前記車輪4、4を有する水平な車輪軸2が支持されている。フレーム1aには、両車輪4、4を被う様にカバーフレーム1bが嵌着又は接着により結合され、この両フレーム1a、1bによつてキャスターフレーム1が構成されている。このフレーム1に、前記車輪軸2の軸心を含む垂直面から離れた垂直な旋回軸3が設けられており、この軸3のまわりを車輪4が自在に旋回して任意の方向に転動する。

上記フレーム1の両車輪4、4間後部には金属製のブッシング5が嵌入され、このブッシング5にアジャストボルト6が車輪4下面から下方に突出可能にねじ込まれている。このボルト6下面にはゴム等の摩擦係数の高い弾性材を取付けて、設置面に損傷が生じないようにすることが好ましい。

実施例は以上のように構成されており、つぎにその作用について説明する。

この実施例のキャスターも従来と同様に家具等の脚に取付け、第1図に示すように、アジャストボルト6を車輪4下面より上方に退去させた状態

(4)

さらに、実施例は二輪キャスターの場合であつたがこの発明は、一輪キャスターでも採用し得ることは言うまでもない。

〔発明の効果〕

この発明は、以上のように構成し、アジャストボルトで車輪を浮かせてキャスターを不動とするようにしたので、構造が簡単であり、安価なストッパー付キャスターといえる。

また、アジャストボルトのねじ込み量の調節により、家具等の高さ調整及びがたつき調整を行なうことができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図はこの発明に係るキャスターの一実施例の一部切欠正面図、第2図は第1図の切断左側面図、第3図は第1図の下面図である。

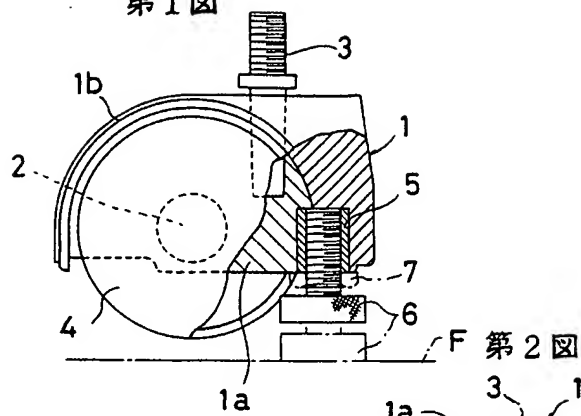
1…キャスターフレーム、2…車輪軸、3…旋回軸、4…車輪、6…アジャストボルト。

特許出願人 株式会社 ヤ ボ ッ ク

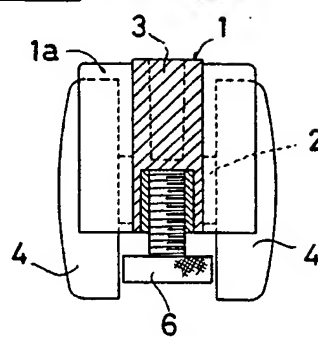
同 代理人 鎌 田 文 二

(6)

第1図



第2図



第3図

